

# 菌根研究会 2025 年大会 (JCOM2025)

## 根研究学会(第 62 回根研究集会)との合同シンポジウム

会期：2025 年 11 月 29 日 (土)，ならびに 30 日 (日)

会場：信州大学松本キャンパス (長野県松本市旭 3-1-1)，全学教育センター講義棟

11 月 29 日(土)午前

時刻	場所	内容
8:30~	12 番講義室入口付近	受付
9:30-9:35	20 番講義室	会長挨拶 江澤辰広 大会実行委員長挨拶 山田明義
9:35-10:35		口頭発表 (座長：丸山 隼人)
9:35-9:50		○1. ダイズ、トウモロコシ、ヒマワリの作物種に親和性の高いアーバスキュラー菌根菌の菌叢 請川弘次朗 <sup>1</sup> ・大友量 <sup>2</sup> ・○鴨下顕彦 (1 <sup>1</sup> 東京大学農学生命科学研究科, 2 <sup>2</sup> 農研機構農業環境部門)
9:50-10:05		○2. リン酸過剰蓄積圃場における純粋培養したアーバスキュラー菌根菌の接種効果の検証: 難波ネギ栽培におけるリン酸減肥栽培の可能性- 第 2 報- ○佐藤匠 <sup>1</sup> ・高梨光法 <sup>1</sup> ・荒川竜太 <sup>2</sup> (1 <sup>1</sup> ナガセケムテックス株式会社・2 <sup>2</sup> 大阪府環境農林水産総合研究所)
10:05-10:20		○3. スギに関連するダークタクサ菌根菌と胞子内細菌 ○DJOTAN Akotchiffor Kevin Geoffroy <sup>1</sup> ・松下範久 <sup>2</sup> ・松田陽介 <sup>1</sup> (1 <sup>1</sup> 三重大学大学院生物資源学研究科資源循環学科, 2 <sup>2</sup> 東京大学大学院 農学生命科学研究科森林科学科)
10:20-10:35		○4. 独立栄養植物のアーバスキュラー菌根共生におけるトレハラーゼの機能 ○富永貴哉 <sup>1</sup> ・佐々木梨紗 <sup>1</sup> ・吉田聡子 <sup>1</sup> ・2 <sup>2</sup> 酒井彩衣・3 <sup>3</sup> 上中弘典 (1 <sup>1</sup> 奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科, 2 <sup>2</sup> 鳥取大学連合農学研究科, 3 <sup>3</sup> 鳥取大学農学部)
10:35-10:45		休憩
10:45-11:45		口頭発表 (座長：志村華子)
10:45-11:00		○5. コケリンドウの部分的菌従属栄養性 ○大和政秀 <sup>1</sup> ・流石茂恵 <sup>2</sup> ・島袋恵土 <sup>1</sup> ・日下部亮太 <sup>3</sup> ・末次健司 <sup>4</sup> (千葉大教育 <sup>1</sup> ・千葉大院教育 <sup>2</sup> ・千葉大院園芸 <sup>3</sup> ・神戸大院理 <sup>4</sup> )
11:00-11:15		○6. 子囊菌門テングノメシガイ綱における菌根菌の探索: <i>Leucoglossum</i> 属と <i>Hemileucoglossum</i> 属の未記載種におけるエリコイド菌根様共生 ○馬場隆士 <sup>1</sup> ・広瀬大 <sup>2</sup> (1 <sup>1</sup> 農研機構果樹茶業研究部門・2 <sup>2</sup> 日本大学薬学部)
11:15-11:30	○7. 樹皮におけるラン科菌根菌の分布普遍性 ○蘭光健人 <sup>1</sup> ・三次充和 <sup>1</sup> ・辻田有紀 <sup>2</sup> ・遊川知久 <sup>3</sup> (1 <sup>1</sup> 東京大学, 2 <sup>2</sup> 佐賀大学, 3 <sup>3</sup> 国立科学博物館)	
11:30-11:45	○8. 火山遷移における共生微生物の感染源の分布と感染による生育効果 ○石川陽・奈良一秀 (東京大学大学院 新領域創成科学研究科)	
11:45-12:00	休憩	
12:00-12:40	12 番講義室	総会
12:40-13:00		休憩

11月29日(土)午後

時刻	場所	内容
13:00-15:00	20番 講義室	合同シンポジウム:「土壌を深掘る:根と菌の世界」
13:00-13:05		趣旨説明, 合同シンポジウム世話人 山田 明義
13:05-13:25		S1:根のデザインを支える根系可視化技術の展望 宇賀優作 (農研機構作物研究部門)
13:25-13:45		S2:持続的作物生産におけるアーバスキュラー菌根菌の機能的多様性の意義:全球スケールでの転写産物プロファイリング 江澤 辰広 (北海道大学)
13:45-14:00		前半2題の総合討論
14:00-14:20		S3:森の小さな根の生態学:菌根菌との関りって大事だなと思う日々 牧田 直樹氏 (信州大学理学部)
14:20-14:40		S4:寒冷地に分布するカラマツ林の外生菌根菌群集と気候変動予測 宮本 裕美子 (信州大学山岳科学研究所)
14:40-14:55		後半2題の総合討論
14:55-15:00		総括 根研究学会会長 大橋 瑞江
15:00-15:30		
15:30-17:30	24~26 番講義室	合同ポスターセッション
15:30-16:30		奇数番号のコアタイム
		P1:アーバスキュラー菌根菌菌叢解析におけるプライマーの比較 大友量 <sup>1</sup> ・Syahmi Suprem <sup>2</sup> ・鴨下顕彦 <sup>2</sup> (1農研機構農環研, 2東京大学農学生命科学研究科)
		*P3:スイートコーンとデントコーンのアーバスキュラー菌根菌感染の予備的研究 リエイザワ, リュウゾーハン, サリアリス, 赤津知弧, スプレムシャフミ, 鴨下顕彦 (東京大学農学生命科学研究科・農学部)
		*P5:土壌の加温処理がスギ実生の根系構造と関わるアーバスキュラー菌根菌の定着に及ぼす影響 片山悠史 <sup>1</sup> ・Djotan A. Kevin G. <sup>1</sup> ・北上雄大 <sup>1</sup> ・小長谷啓介 <sup>2</sup> ・松田陽介 <sup>1</sup> (1三重大学大学院生物資源学研究科, 2森林総合研究所北海道支所)
		*P7:サトウキビ-アーバスキュラー菌根菌共生系の獲得する画分別リン量に圃場の土壌型及びリン環境が与える影響の解明 石井春希 <sup>1</sup> ・中村元春 <sup>2</sup> ・江澤辰広 <sup>2</sup> ・宮丸直子 <sup>3</sup> ・田中治夫 <sup>1</sup> ・杉原 創 <sup>1</sup> (1農工大院農, 2北大院農, 3(株)沖縄農業技術開発)
		P9:高知県の暖温帯天然林に生育するラン科着生植物オサランの菌根菌相 瀬戸美文・蘭光健人 (東京大学大学院新領域創成科学研究科)
		*P11:レブンアツモリソウ菌根菌 <i>Tulasnella</i> sp. を用いたゲノム・トランスクリプトーム解析 神原昂太 <sup>1</sup> ・金純伊 <sup>2</sup> ・藤野介延 <sup>2</sup> ・志村華子 <sup>2</sup> (1東京大学大学院農学生命科学研究科, 2北海道大学大学院農学院)
		*P13:なぜイチヤクソウには菌従属栄養度が高い“変異”がみられるのか? 榮航太郎 <sup>1</sup> ・首藤光太郎 <sup>2</sup> ・松田陽介 <sup>1</sup> (1三重大学大学院生物資源学研究科, 2北海道大学総合博物館)
		P15:コナラの放射性セシウム吸収は共生菌根菌の種類によって変化する 小河澄香・眞中卓也・小松雅史・赤間慶子・三浦覚 (森林総合研究所)

\*ポスター番号のアスタリスクは, 学生ポスター発表賞の審査対象であることを示します.

11月29日(土)午後

時刻	場所	内容
15:30-17:30	24~26 番講義室	合同ポスターセッション
15:30-16:30		奇数番号のコアタイム
		*P17: 野外植栽したアンズタケ菌根苗からの連続的な子実体発生 堀天空 <sup>1</sup> ・鈴木悠花 <sup>1</sup> ・花岡実桜 <sup>2</sup> ・忠田大岳 <sup>2</sup> ・武居祐子 <sup>2</sup> ・ 松井 貴弘 <sup>2</sup> ・升本 宙 <sup>1,3</sup> ・山田 明義 <sup>1,3</sup> ( <sup>1</sup> 信州大学大学院総合 理工学研究科, <sup>2</sup> KOA (株), <sup>3</sup> 信州大学山岳科学研究所)
		*P19: スギ人工林内に生育するトガサワラ幼木の根系における外生菌根 菌の空間分布 清水裕文・北上雄大・松田陽介 (三重大学大学院生物資源学研究 科)
		*P21: 日本産黄色系アンズタケ類の分類および分岐年代推定 Xu Wenjun・升本 宙・山田 明義 (信州大学大学院総合医理工学 研究科)
16:30-17:30		偶数番号のコアタイム
		*P2: FLd3/FLR2 アンプリコンのサイズ分画による AM 菌比率の向上 シャフミ スプレム <sup>1</sup> ・鴨下顕彦 <sup>1</sup> ・大友量 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 東京大学農学生命 科学研究科, <sup>2</sup> 農研機構農環研)
		*P4: 維管束着生植物と共生するアーバスキュラー菌根菌と基質土壌の 物理化学的特性との関係性 岡直央人・東若菜 (神戸大学大学院農学研究科)
		*P6: サトウキビにおける菌根経路の栄養獲得を駆動する土壌・管理要因 中村元春 <sup>1</sup> ・江澤辰広 <sup>1</sup> ・石井春希 <sup>2</sup> ・宮丸直子 <sup>3</sup> ・杉原創 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 北 大院農, <sup>2</sup> 農工大, <sup>3</sup> (株) 沖縄農技開発)
		P8: 宮沢賢治の描いた根と菌根 齋藤 雅典 ( (元) 東北大学)
		*P10: ラン科植物菌根菌と高い DNA 相同性を示す <i>Tulasnella</i> 属菌 2 種 の子実体について 長棟光祐 <sup>1</sup> ・永松大 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 鳥取大学連合農学研究科, <sup>2</sup> 鳥取大学農学 部)
		*P12: レブンアツモリソウ菌根菌の継代培養菌株を用いた宿主転写応答 の比較解析 金純伊 <sup>1</sup> ・神原昂太 <sup>2</sup> ・藤野介延 <sup>1</sup> ・志村華子 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 北海道大学大学 院農学院, <sup>2</sup> 東京大学大学院農学生命科学研究科)
		*P14: 亜熱帯性ツツジ科植物ギーマにおける細根分離菌株の二者培養 を用いた共生能力検証 佐藤 創太 <sup>1</sup> ・馬場 隆士 <sup>2</sup> ・廣瀬 大 <sup>3</sup> ・伊東 拓朗 <sup>4</sup> ・牧 雅之 <sup>1,4</sup> ( <sup>1</sup> 東北大・院・生命, <sup>2</sup> 農研機構・果樹茶部門, <sup>3</sup> 日本大・薬, <sup>4</sup> 東北大・植物園)
		*P16: 東日本大震災 14 年後の海岸の盛土における植栽クロマツに形 成された外生菌根の酵素活性 瀬川あすか・北上雄大・松田陽介 (三重大学大学院生物資源学研 究科)
	*P18: アジアクロセイヨウショウロ子実体直下における外生菌根群集 辻 汰希・北上 雄大・松田 陽介 (三重大学大学院生物資源学研 究科)	
	*P20: 中部山岳地域のヌメリイグチ属の多様性調査 樋熊 葉 <sup>1</sup> ・山田明義 <sup>1,2</sup> ・升本宙 <sup>1,2</sup> ( <sup>1</sup> 信州大学総合理工学研究 科・ <sup>2</sup> 信州大学山岳科学研究所)	

\*ポスター番号のアスタリスクは、学生ポスター発表賞の審査対象であることを示します。

11月29日(土)午後

時刻	場所	内容
15:30-17:30	24~26 番講義室	合同ポスターセッション
16:30-17:30		偶数番号のコアタイム
		*P22: 青森県および長野県の冷温帯林で採取された <i>Russula</i> 属 <i>Archaeae</i> 亜属の 1 未記載種 清水 誠也 <sup>1,2</sup> ・殿内 暁夫 <sup>2</sup> ・升本 宙 <sup>1,3</sup> ・山田 明義 <sup>1,3</sup> (1 信州 大学総合医理工学研究科, 2 弘前大学農学生命科学研究科, 3 信州 大学山岳科学研究所)
18:00-20:00	学生食堂 あづみ ホール	懇親会

\*ポスター番号のアスタリスクは、学生ポスター発表賞の審査対象であることを示します。

- ・大会参加費は、会員 1,000 円、非会員 2,000 円です。受付にて、会員年会費 1,000 円を徴収予定です。懇親会は、一般（会員を問わず）5000 円、学生（会員を問わず）3000 円の予定です。
- ・一般口頭発表は 1 人 15 分です（説明 12 分、質疑 2 分、講演入替 1 分を想定）。実行委員会でプレゼン用パソコンを用意しますので、事前にファイルをコピーしてください。自身のパソコンを使用する方は、HDMI ケーブルへの接続のご準備をお願いします。
- ・ポスターは A0 サイズで作成してください（画鋸での固定を想定）。ポスターの左上端にポスター番号を掲示します。ポスター発表では、学生の方は発表表彰（学生ポスター発表賞）の対象となります。ポスター掲示については、30 日に参加されない人は懇親会の前に撤収をお願いします。30 日も参加される方は、30 日の 12:00 までに撤収をお願いします。
- ・11 月 29 日（土）は、大学の生協食堂（旭会館の 1F）が 11:30~13:30 の間、営業中です。総会に出席される会員の皆さんは昼の休憩時間が限られますので、事前に昼食をご購入いただくなどして、総会（12 番講義室）の時間中に昼食をとっていただいて構いません。大学西門の向かいにコンビニ（デイリーヤマザキ）があります。
- ・合同シンポジウム終了後、参加者全体の記念撮影を予定しています。大会実行委員が誘導しますのでご協力をお願いします。
- ・11 月 30 日（日）は菌根研究会としてのイベントありませんが、根研究学会のイベント（学術講演等）に参加可能です。菌根研究会への大会参加費を払っている方は、追加料金等は要りません。生協食堂は休みです。

- ・大会実行委員長: 山田 明義(菌根研究会)
- ・大会実行委員: 齋藤 勝晴(信大農), 升本 宙(信大農), 宮本 裕美子(信大山岳研), 青木 渉(信大山岳研), 牧田 直樹(信大理;根研究学会), 浅野 郁(信大全学;根研究学会)

連絡先: akiyosh@shinshu-u.ac.jp (山田 明義)

JR 松本駅前から信州大学松本キャンパスへのアクセス:

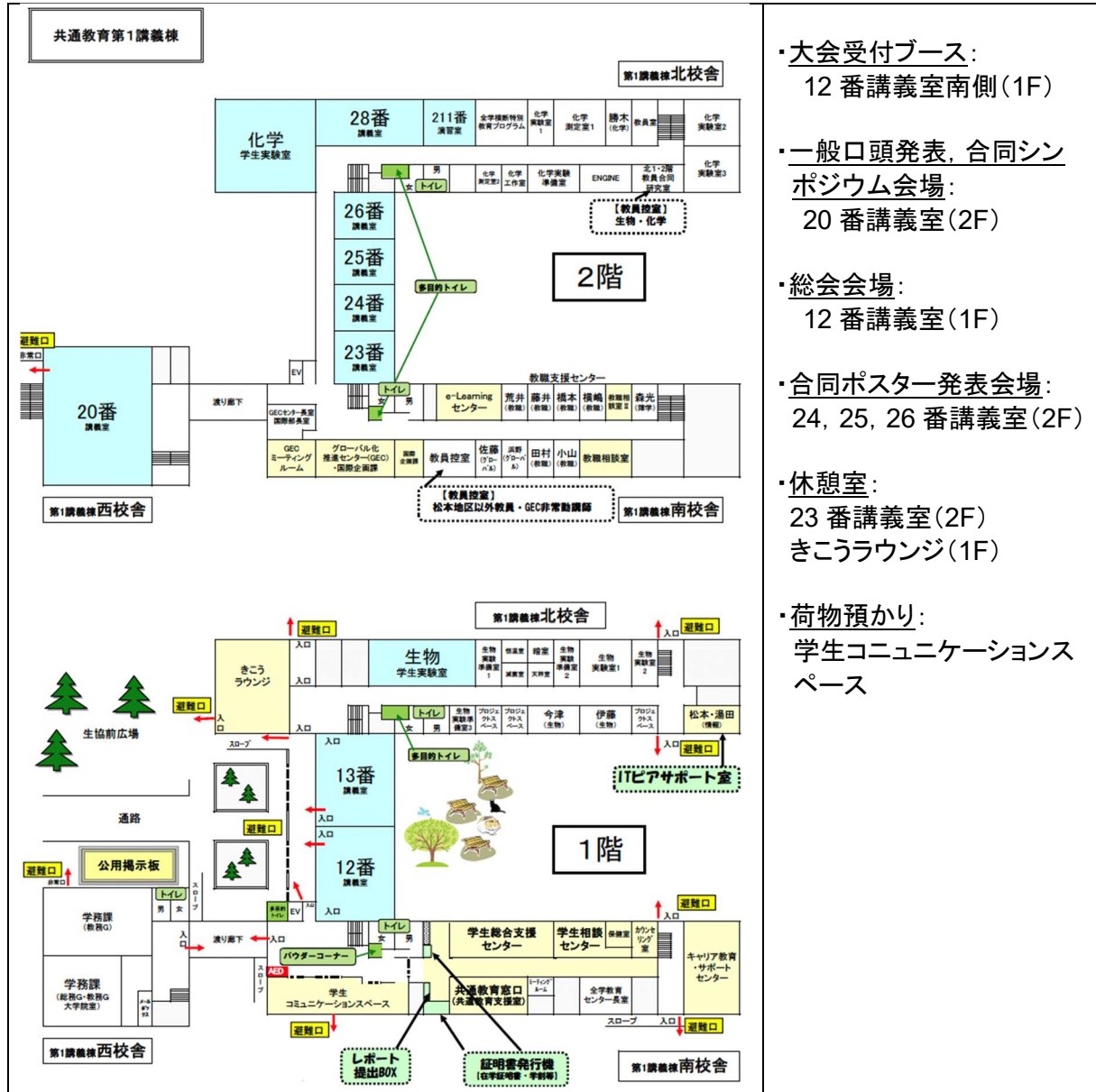
・バス: 松本駅東口のバスターミナル「お城口」のりば 23 番から、浅間線(系統番号 32)に乗り、バス停「大学西門」で下車すると便利です。料金は 200 円です。詳細は、アルピコ交通のサイトからご確認ください。 <https://www.alpico.co.jp/traffic/local/matsumoto/>

・自家用車: キャンパス内には利用できる駐車場はありません。北門の外側に民間の有料駐車場(松本市営美須々駐車場)がありますので、そちらをご利用ください。

信州大学松本キャンパスマップ <https://www.shinshu-u.ac.jp/guidance/guide/matsumoto/>

 <p>The map shows the layout of the Shinshu University Matsumoto Campus. It features several gates: 北門 (North Gate) at the top, 西門 (West Gate) on the left, 正門 (Main Gate) at the bottom-left, 東門 (East Gate) on the right, and 南門 (South Gate) at the bottom. Buildings are numbered 1 through 32. Key areas include a large baseball field (野球場) at the top, a tennis court (テニスコート) in the middle-right, and a green field (グリーンフィールド) at the bottom. There are also two pools (プール) and two grounds (グラウンド). A north arrow is located in the upper left corner of the map area.</p>	<p>西門前でバスを降り、西門から直進すると(徒歩 3 分)、全学教育センター講義棟(番号 26)です。 ここが、受付、一般講演、総会、合同シンポジウム、合同ポスター発表の会場になります。</p> <p>懇親会会場は、学生食堂「あづみホール」(番号 27)です。大会会場から北に徒歩 1 分です。</p> <p>昼食のとれる旭会館 1F の生協食堂(番号 3)は、大会会場から南に徒歩 2 分です。</p>
--	---

# 全学教育センター講義棟



- ・大会受付ブース:  
12番講義室南側(1F)
- ・一般口頭発表, 合同シンポジウム会場:  
20番講義室(2F)
- ・総会会場:  
12番講義室(1F)
- ・合同ポスター発表会場:  
24, 25, 26番講義室(2F)
- ・休憩室:  
23番講義室(2F)  
きこうラウンジ(1F)
- ・荷物預かり:  
学生コミュニケーションスペース